

国立大学法人東京農工大学の中期目標

(前文) 大学の基本的な目標

本学は、20世紀の社会と科学技術が顕在化させた「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を正面から受け止め、農学、工学及びその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念とする。本学は、この基本理念を「使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力」(MORE SENSE: Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth)と標榜し、自らの存在と役割を明示して、21世紀の人類が直面している課題の解決に真摯に取り組む。

第3期中期目標・中期計画においては、「世界が認知する研究大学へ」を学長ビジョンとして掲げ、世界に向けて日本を牽引する大学としての役割を果たすため

1. 世界と競える先端研究力の強化
2. 国際社会との対話力を持った教育研究の推進
3. 日本の産業界を国際社会に向けて牽引
4. 高度なイノベーションリーダーの養成

に積極的に取り組み、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する。

本学は、これに基づく中期目標・中期計画を策定し、更なる大学改革・機能強化を図るため必要な施策を実施する。

◆ 中期目標の期間及び教育研究組織

1 中期目標の期間

平成28年4月1日から平成34年3月31日までの6年間。

2 教育研究組織

この中期目標を達成するため、別表に記載する学部、学府等を置く。

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

- 1 ・国際社会との対話力を持った教育を推進し、農学及び工学の専門性を備えながら、教養豊かで国際社会において活躍できる実践型グローバル人材を育成する。【学士課程】

また、農学、工学及びその融合領域において、高度な研究能力を備えながら、国際社会で指導的な役割を担うことのできる対話力・対応力を有する国際理系イノベーション人材を育成する。【大学院課程】

(2) 教育の実施体制等に関する目標

2 ・教育の実施体制を整備するとともに、教育組織の改組等を実施することにより、学部・大学院教育を充実する。

(3) 学生への支援に関する目標

3 ・グローバル化に対応した学生への支援を行うとともに、多様な学生へのキャリア形成支援等を強化する。

(4) 入学者選抜に関する目標

4 ・アドミッション・ポリシーに基づいた入学者選抜制度の改善を行い、優秀かつ多様な人材を確保する。

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

5 ・農学、工学及びその融合領域において世界と競える先端研究力を強化し、研究大学として世界的認知度を高める。

6 ・日本の産業界を国際社会へ牽引するため、オープンイノベーションを指向した産学官連携活動等を推進・発展させる。

(2) 研究実施体制等に関する目標

7 ・多様な教員の育成や研究支援を行い、全学的な研究環境の整備を進める。

3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

8 ・大学が有する物的資源及び人的資源を有効活用し、持続的な地域貢献・社会貢献活動を展開する。

4 その他の目標

(1) グローバル化に関する目標

9 ・学生の海外派遣や受入のための体制等を整備し、世界で活躍するグローバル人材を育成する。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 組織運営の改善に関する目標

○組織運営の改善等

10 ・学長のリーダーシップの下でガバナンス改革を推進し、教育、研究及び社会貢献の機能を強化する。

○人事制度の改善等

11 ・人事制度の弾力化に取り組み、グローバル化に対応した多様な人材を確保・育成する。

2 教育研究組織の見直しに関する目標

12 ・学長ビジョンの実現に向けて、他大学との連携を含め教育研究組織の機能を強化する。

3 事務等の効率化・合理化に関する目標

13 ・事務組織等の効率化・合理化を推進し、適切な法人運営を行う。

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標

14 ・多様な資金調達を行い、自己収入の増加を図る。

2 経費の抑制に関する目標

15 ・管理的経費を節減する。

3 資産の運用管理の改善に関する目標

16 ・保有資産の運用管理を適切に行い、資産の有効活用を推進する。

Ⅳ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 評価の充実に関する目標

17 ・全学的な評価・改善サイクルを確立し、大学の機能強化を図る。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

18 ・情報発信を強化し、本学の活動や機能について社会の理解・協力を得る。

Ⅴ その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の整備・活用等に関する目標

19 ・計画的な施設マネジメントを行い、教育研究の質の向上を図る。

2 安全管理に関する目標

20 ・危機管理を徹底するとともに、防災対策を講じ、全学的な環境安全衛生管理体制を強化する。

3 法令遵守等に関する目標

21 ・本学の諸活動を適正かつ持続的に行うため、教職員の法令遵守（コンプライアンス）を徹底する。

22 ・サイバーセキュリティ基本法の理念に基づき、サイバーセキュリティ対策を強化する。

4 情報システムの整備充実と運用改善に関する目標

23 ・学内情報の共有を推進するため、学術情報基盤を強化する。

別表（学部、研究科等）

学部	農学部 工学部
学府	工学府 農学府 生物システム応用科学府
研究科	連合農学研究科 参加大学 — 茨城大学、宇都宮大学

研究科	岐阜大学大学院連合獣医学研究科の参加大学
-----	----------------------